



# 臨床腫瘍センターだより

第38号 (2012年3月23日)

## \* 福島県地域がん登録について

“地域がん登録”とは、特定の地域に居住する住民に発生したすべてのがん患者さんを対象とする登録です。対象地域における各種がん統計値(罹患数・率、受療状況、生存率)の整備を第1の目的としており、がん対策の羅針盤として世界中で実施されております。がん診療施設などのご協力により、診療情報を収集・整理し、また人口動態調査死亡票より情報を得て、登録漏れの補完・予後(生死)の把握をしています。

福島県では平成21年度から事業を開始し、平成22年3月に当臨床腫瘍センターにてデータ登録・分析・資料作成の業務を受託し、同年12月より標準データベースシステムでの登録を開始しました。平成23年12月までに約16,000人を登録し、2008年症例の暫定値を国立がん研究センターに報告したところでした。

原発事故が県民のがん罹患にどのような影響を与えるか注目される中、各医療機関・保健所・公衆衛生学講座・県民健康管理センター・国立がん研究センターのご協力を得ながら、より精度の高い登録を進めているところです。今後もみなさまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

地域がん登録/武藤(内線:2663)

## \* 会津タオル帽子の会による支援物資提供について

相談支援センターでは、“タオル帽子会あいづ(代表:五十嵐まりい様)”より、抗がん剤治療の患者様にタオル帽子の支援を頂き、入院、通院中の患者様に約200個の帽子を無料で提供しました。特にクリスマスのお子様用の帽子は大好評でした。3月1日にもタオル帽子の提供がありましたので、ご希望の方はご連絡をお願い致します。

連絡先：臨床腫瘍センター/がん看護専門看護師 三浦 浅子

## \* がん哲学外来の1年を振り返って

臨床腫瘍センターでは、平成22年から順天堂大学の樋野興夫先生をお迎えし、がん患者様やご家族様との対話の場であるがん哲学外来を行ってきました。スターバックス医大店のご協力のもと、お好きな飲み物を楽しんで頂きながら、思いを語るひとときをもって頂きました。医大の患者様だけでなく院外の方からの問い合わせもあり、少しずつ福島の地でがん哲学外来の輪が広がっていることを実感しています。相談の内容は、がんと告知されたことへのショックや社会から切り離されてしまったような疎外感、家族への思い、これからの見通し、日常生活や食事で気をつけることなど多岐にわたります。入院中の患者様のベッドサイドで痛みに伴う辛さや不安を受けとめて下さったこともあります。



院内でもがん哲学外来について患者様にご案内下されれば幸いです。また、今年度は東北大学病院、新潟大学医学部、岩手県立中央病院、金沢大学附属病院から見学に来られ、院外の関係者からの関心の高さを伺わせられました。来年度は、がん哲学外来3年目の節目にあたり、9月16日(日)午後3時～3時30分に3周年記念シンポジウムを開催予定です。詳細が決まりましたらご案内致しますので、皆様の多数のご参加をお待ちしています。

MSW池田紀子(内線:3161)

## 〈2月外来化学療法センター利用状況〉 利用者数 287名

肝胆膵・移植外科	18	血液内科	21
呼吸器外科	8	婦人科	15
消化管外科	41	泌尿器科	9
乳腺、内分泌、甲状腺外科	101	皮膚科	9
呼吸器内科	28	リウマチ・膠原病内科	3
消化器内科	13	小児科	20
整形外科	1	合計	287



### 臨床腫瘍セミナー開催案内

日 時: 平成24年 4月17日(火) 18時～19時  
場 所: 11号館(臨床講義棟)第二臨床講義室  
演 題: 「がんとは?～発がんメカニズムをさぐる～」  
講 師: 福島県立医科大学  
放射線健康管理学講座  
主任教授 大津留 晶 先生

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します  
文責:臨床腫瘍センター <問い合わせ先>

### Cancer Board開催案内

4月 2日(月) 17:00～ 頭頸部  
4月 2日(月) 19:00～ 呼吸器

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的に開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。

内線:3160 E-mail:kataokaa@fmu.ac.jp 担当: 片岡